



11月20日 お買い物ツアーの思い出

緑の園  12月号



ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
デイサービスセンター
だより

第102号
令和6年12月1日発行






**いよいよ師走。
今年も一年ありがとう
ございました。**

令和6年もいよいよ12月。
世の中すっかりクリスマスモードに様変わりして華やかさが際
だってまいりました。

個人的には12月の記憶はいろ
いろとにかく忙しいイメージがあ
って、自分ではるか昔の子供のこ
ろに感じたワクワク感はすっかり
忘れてしまいました。





以前、あるご利用者さんが「お餅は29日につくものではない
んだよ、縁起が悪いからね。」と、教えてくれました。

我々の都合で「餅つき大会」を企画した際に指摘されたことで
今ではすっかり私の習慣になりました。(Hさんに教わったです)
さて、ここ数年「人手不足」という言葉が世間で取りざたされ
ています。


10年位前になるかと思いますが、そのころはまだ「就職氷河
期」だったと記憶しています。

コロナ期を経て(まだ終わってないと思いますが)突然人が足り
なくなったような感じですが、いうに及ばず介護業界は人材不足
の状態が10年以上前から続いています。

世間では少子化が原因だといわれていますが、生まれてすぐの
子供さんが「介護」をするわけではないので今の人材不足の原因

にはなるわけないっしょ。
とにかく、人気がない
業界になってしまったこ
と。これにつきます。




ここ数年社会福祉施設
に勤務すること自体高校
生やその両親にとって全く魅力のないことのように感じま
す。たとえば、生徒さんが社会福祉の(専門)学校を志望して
も両親が否定されることがあると聞きます。

実際に介護福祉士養成校定員充足率は4割強あたりだそ
うです。なのでこのことから介護の仕事はトップクラス
の不人気職業となってしまったような気がします。

そんな中であってでも介護の仕事を「働き甲斐のある仕
事だから」といって選択し「利用者や、その家族から感謝
される」、「自分を生かせる仕事」と介護の仕事に満足感
や充実感、そして誇りをもって勤務している人もたくさん
存在します。

広く社会福祉の仕事は「幸せ」を目的としており、介護
の現場では利用者様の生活全般を支え、さらには「命」の
保証もしています。

介護の仕事が「過重労働」や「低賃金」の代表格となっ
ているようなお話をされるのは心底悲しくなってしまうし
もっとわたしたちの「介護業界」のすばらしさを知って
もらいたいと願ってばかりの毎日です。ちなみにですが、私
文書などの発送日に関してこだわりがあります。Fさんから
私が駆けだしのころ
に教えられたことで、
何か事を起こすときは
暦のいい日を選ぶ。
ってことです。これは
大事です。(おばら)





心温まるご寄付
ありがとうございます。



先月当法人の運営する地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザにご寄付を賜りましたのでご紹介いたしますとともにお礼申し上げます。

ありがとうございました。



遠軽町大通北

藤本ハツヨ様



先月の出来事を紹介いたします。

さて、年末が近づき施設で開催される行事の内容も室内レクに様変わりといった状況ではありますがインフルエンザの予防接種は

10月中旬に、新型コロナワクチンは11月11日から毎週月曜日にヒルトップハイツ、緑の園、グリーンプラザで12月2日まで接種が実施されます。

ヒルトップハイツにおきましては「シティでお買い物ツアー」と銘打って20日にお買い物に行っていました。

参加された方は少なかったですが楽しいひと時を過ごすことができました。

グリーンプラザにおきましては6日に「おやつレク」で蒸しパンを作って皆さんでおいしくいただきました。施設の中全体があまあい香りに包まれ幸せな時間でした。私もいただきましたがとてもおいしかったです。

緑の園では23日に木暮商店さんの移動販売がありました。この度の新型コロナ感染症によりしばらく中断していましたが、やっと再開することができて利用者さんも皆さん喜ばれておりました。

さて、来月の予定でありますいよいよ年末も近づくとということで「クリスマス会」をそれぞれの施設で計画しております。

今年最後の行事です、皆さんどうぞ楽しみに。

緑の園ではそのほか今回好評だった木暮商店さんの移動販売を日程未定ですが予定しております。



施設からのお知らせとお願いです。

日頃から丸瀬布社会福祉協会のそれぞれの施設をご利用いただき誠にありがとうございます。

皆様方のご理解とご協力により当法人の運営が円滑に行われていることにつきまして感謝いたしますとともにお礼申し上げます。

本当にありがとうございます。

年末年始を目前に控えご帰省されるご家族様も多いかと存じますが誠に申し訳ございませんが**年末年始のご面会につきましては感染予防のためご遠慮いただきますよう切**お願い申し上げます。(日程の詳細につきましてはそれぞれの施設にお問い合わせ願います)



来年は皆様にとって
良い年でありますように。

さて、令和6年も残すところあと一か月。

あと一か月ありますが今年一年の出来事を振り返ることにします。

8月、16年と5か月私たち家族と一緒に過ごしてくれた愛犬「さくら」が虹の橋へと旅立ちました。その日も普段と変わらず過ごしていたものの夕方突然容態が急変してから1時間、2人の孫とかわいがってくれた知人に看取られて妻の腕の中でそっと静かに息を引き取りました。

16年余りの時間…。この時間は私たちと「さくら」とでは違うものだった気がします。犬は与えられた犬の時間を一生懸命に生きて、「さくら」はその時間を生き切ったのだと思います。時間が無くなることを恐れず、よたよたになって歩いていても、常にそれは「今」のままでした。

息を引き取った時の表情は「与えられた命をきちんと使い切ったよ」と誇らしげに訴えているかのようにとても満足そうでした。

与えられた時間を生き切る。「さくら」は満足でしょうが残された私たちはたまたま寂しいです…。(おばら)

